

報告：オープンイノベーションスクール 2017

(平成 29 年 10 月 28 日 (土) : 大学セミナーハウス)

平成 29 年 10 月 28 日 (土) に大学セミナーハウス (八王子市) の中央セミナー室にて、オープンイノベーションスクール (OI スクール) を開催しました。大学セミナーハウスでは、共催した多摩地区合同コロキウムが開催されており、昨年に引き続いて、今年の OI スクールも、2 日間の日程で、電気通信大学、東京農工大学、東京外国語大学の三大学が共催する多摩地区合同コロキウムのサテライトミーティングとして実施しました。OI プログラムは、電気通信大学の周辺にある宇宙航空研究開発機構、情報通信研究機構、国立天文台などの教育研究機関とともに、多摩地区合同コロキウムに参加している東京農工大学、東京外国語大学とも連携しており、多摩地区合同コロキウムの参加者にも OI スクールに参加していただきました。



OI スクールには、電通大から OI プログラム学生 6 名を含む 13 名と多摩地区連携教育研究ネットワークの 3 つの連携機関 (東京農工大学、情報通信研究機構、国立天文台) の連携研究者 5 名、総計 18 名の参加者が集まりました。今回の OI スクールでは、OI プログラム学生 4 名から、受講したラボワークの

取り組み内容について報告がありました。博士前期課程 1 年の 3 名からは、それぞれ最初のラボワークについて報告があり、博士前期課程 2 年の 1 名からは、国立極地研究所、国立天文台、東京農工大学の 3 ヶ所で行ったラボワークの報告がありました。OI プログラムの関係者が他の連携機関で実施されたラボワークの内容をまとめて知ることができる機会となり、いずれの報告にも尽きることがないほどの質問やコメントがありました。

中央セミナー室での OI スクール終了後、OI プログラム学生は多摩地区合同コロキウムに参加し、研究屋台村でのポスター発表会やグループディスカッションを行って、東京農工大学と東京外国語大学の学生との学際交流をしました。



電通大の OI プログラムを通じて、所属も専門分野も異なる研究者が集まり、研究背景が大きく異なる研究テーマのラボワークについての報告をきくことで、お互いの研究を知るとともに交流を深めることができる良い機会となりました。(OI プログラム担当古川)